

第63回 奈良市中学校剣道新人大会

標記剣道大会が、ならでん武道場で行われました。
結果は、次の通り。



- ・10/28 (土) : 個人の部
優勝・・・西浦 尚希 (1年)
三位・・・井上 賢史郎 (2年)、明賀 仙太郎 (2年)

各校、6名の参加で行われた個人戦。夏に1年で近畿大会個人に出場した西浦は、優勝候補を倒し、危なげなく準決勝進出。優勝候補の井上も、危なげなく準決勝進出。明賀は、他校の力のある大将等と対戦し、苦勞しながらも力を出し切り、準決勝進出。しかし、準決勝で他校の優勝候補に敗れ、三位。もう一つの準決勝は、西浦対井上の同門対決が実現。立ち上がりから、お互い気合の入った試合をしてくれました。西浦が、引き技の後、井上が面にくるところを小手を決める。さらに、井上の技の打ち終わりに引き面を決め、二本勝ち。明賀を倒した相手との決勝戦。お互いおいしい技がありましたが、最後は相手の居ついたところを面にのり、優勝。女子は入賞者ゼロという厳しい結果となりましたが、みんなよく頑張りました。

- ・10/29 (日) : 団体の部
(男子団体 優勝)
2年：井上 賢史郎・明賀 仙太郎・柴田 一慶・武村 翼・松浦 広空
1年：西浦 尚希・富田 宗汰
(女子団体 優勝)
2年：望月 未来・若林 萌恵・三好 なつき・都築 遥・川邊 美帆子
1年：川島 悠莉菜・神谷 陽里

昨日結果を残し、優勝候補の男子。準決勝までは危なげなく勝ち上がりました。準決勝は、対 三笠中。力のあるメンバーが揃っているチームでしたが1対0で勝利。決勝は、対 育英中。県でも優勝候補にあがっているチーム。厳しい試合になると考えていましたが、大将戦まで1対1。大将戦は、キャプテンの井上が面2本の2本勝ちで勝利。チームを優勝に導いてくれました。

スーパースター不在の女子チーム。前日の個人戦では結果を残すことができませんでしたが、今年は、チーム力で戦うチーム。決勝まで圧勝で勝ち上がると、決勝の相手は都南中。三人のチームですが、前日の個人戦、優勝・三位・五位と三人とも力のある選手。ここでも、チーム力を発揮し、3対0で勝利し、優勝。

男女で優勝することができました。閉会式の後、写真撮影をしましたが、みんなの笑顔は輝いていました。次は、奈良県の新人戦です。気を引き締めて頑張ります。